

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
保健体育・保健	1年	1	現代高等保健体育 (大修館書店)	図説 現代高等保健 (大修館書店)
科目の概要と目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や態度を育てる。			
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や配布するプリントを使用して授業を進めていく。</li> <li>項目によって、実習・実技をおこなう。</li> </ul>			
評価の観点と方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識・理解」の3つの観点から評価を行う。</li> <li>毎学期期末考査の得点、課題など提出物の提出状況を総合的に評価する。</li> </ul>			
	学期	単元・学習項目	学習内容・到達度目標	
年間の授業内容	1学期	1 単元 現代社会と健康  1 私たちの健康のすがた 2 健康のとらえ方 3 健康と意志決定・行動選択 4 健康に関する環境づくり 5 生活習慣病とその予防 6 食事と健康 7 運動と健康 8 休養・睡眠と健康  22 応急手当の意義とその基本 23 心肺蘇生法 24 日常的な応急手当	1～2 我が国健康水準の同行を取り上げ、科学技術の発達や社会経済の発展に伴って健康水準が向上してきたこと、疾病構造が変化してきたことや、個人や集団の健康についての考え方も変化していることを理解する。  3 健康に暮らすために利用できるサービスについて理解する。  4 ヘルスプロモーションの考え方に基づき、健康を保持増進するためには、環境作りが重要であることを理解する。  5～8 生活習慣病を予防し、健康を肘増進するには、適切な食事、運動、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を実践することが必要であることを理解できるようにする。  22～24 救急救命法を正しく理解し、ダミー人形を使って実践する。  *地元消防署の協力を得て、実技研修を実施する。	
	2学期	1 単元 現代社会と健康  9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 現代の感染症 13 感染症の予防 14 性感染症・エイズとその予防 15 欲求と適応機制 16 心身の相関とストレス	9～10 飲酒・喫煙の体に及ぼす影響について正しく理解できる。  11 薬物について正しく理解し、将来にわたり関係を持つことがない生活の有効性を理解する。  12～14 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会の環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解する。また、振興感染症や再興感染症の発生が見られることや予防についての社会的な対策についても理解する。  15 精神機能は、主として大脳によって統一・調和的に営まれていることを理解できるようにする。  16 人間の精神と身体は密接な関連をもっていることを、身体的変化が精神に及ぼす影響と精神的変化が身体に及ぼす影響との両面から理解できるようにする。	
	3学期	1 単元 現代社会と健康  17 ストレスへの対処 18 心の健康と自己実現 19 交通安全の現状と要因 20 交通社会における運転者の資質と責任  21 安全な交通社会づくり	17 人間が生きていく上で、ストレスを感じることは自然なことであり、また、適度なストレスは精神発達に必要なものであるが、過度のストレスは心身に好ましくない影響をもたらすことがあることを理解できるようにする。  18 人間には自己実現の欲求があり、その充足が精神の健康と深くかかわっていることを理解できるようにする。  19～21 我が国における道路交通事故の状況を知り、防止するには自他の生命を尊重するとともに、個人の適切な行動が必要であることを理解できるようにする。また、交通事故を防止するには、法的な整備、施設設備の充実、車両の安全性の向上などの対策が必要であることを理解できるようにする。	